

「天平文化に思いを馳せて」

結城廃寺跡は、奈良時代のはじめに上山川の地に建てられ、室町時代の中期まで約700年間も続いた古代寺院の遺跡です。奈良・平城京を中心とした「天平文化」の特徴を色濃く示す文化財として、屋根瓦を生産した結城八幡瓦窯跡とともに、平成14年に国指定史跡となりました。

近年の発掘調査では、経典を収めた建物「経蔵」や、梵鐘を吊り下げた建物「鐘楼」の跡と考えられる遺構、東日本では珍しい朝鮮半島由来のものに似た土器などが出土しており、東国への仏教文化の伝播と発展を考えるうえで極めて重要な遺跡であるといえます。

地元の上山川小学校では、毎年6年生が結城廃寺跡について学んだことを在校生に向けて発表し、地域の誇る文化財を後輩たちに伝える取り組みが続いています。結城が誇る文化と伝統を、100年、200年先の未来につないでいくため、今後も発掘調査と保存整備を進め、将来的には史跡公園として観光資源にも活用したいと考えています。



結城市長
小林 栄

水野家物語

— 結城を治めた、二つの水野家 —

第7回 † ゆでまんじゅうと殿様 †

本市を代表する銘菓、ゆでまんじゅう。江戸時代末期に、結城の町に疫病が流行したとき、当時の殿様が疫病の厄払いのため神輿を奉納した際、民衆に振る舞ったのが始まりと言われています。その後は、健田須賀神社の夏季大祭の日に各家庭で作られ、無病息災・五穀豊穡を願うようになりました。

ところで、この時の殿様はだれだったのでしょうか。まず、江戸時代末期に江戸で流行した疫病を見てみると、安政5(1858)年にコレラ、文久2(1862)年に麻疹が大流行し、多くの犠牲者が出ました。結城での状況は現在不明ですが、影響は受けていたと考えられます。そして、この時代に藩主であった殿様を見てみると、

8代・水野勝進、9代・勝任が該当します。江戸時代の疫病対策は、集落の辻にわら人形や大わらじなどを置き、牛頭天王を祀るなど、疫病が侵入しないよう神に祈ることでした。健田須賀神社は江戸時代、「牛頭天王社」とも呼ばれていました。当時の殿様も、結城の守り神である牛頭天王へ神輿を奉納し、そのご利益をゆでまんじゅうに乗せて振る舞うことにより、領民を疫病から守ろうとしたのでしょうか。



問 市生涯学習課 文化係 ☎32-1931

うちの子「結婚」しないのかしら？

— 独身のお子様の結婚支援・孤立化対策 —

「孫の顔を見れないかも」「結婚する気がなさそう」「自分たちがいなくなった後が心配」そんな不安に仲人が親身に対応します。お気軽にお問い合わせ下さい。

結婚相談所ムスベル TEL:029-869-9128

社会医療法人社団 同樹会
結城病院
知識と技術をもって治療し心をもって癒す

理事長・院長 大木 準
TEL: 0296-33-4161
FAX: 0296-34-8008

助け合う。支え合う。～地域福祉を担う第2層協議体～

江川北小校区 ほっこり笑川

ほっこりと笑顔になれる江川北地区をイメージして「江川」と「笑顔」を組み合わせました。月に1回、江川地区多目的集会所で会合を設けています。メンバー同士で体験できる企画も取り入れ、和気あいあいと楽しみながら活動をしています。

設置年 平成29年 会員数 14人
協議体の構成員

民生委員児童委員、町内自治会関係者、老人クラブ会員、市民ボランティア、行政関係者、地域包括支援センターなど

問 市介護福祉課 地域ケア推進係 ☎34-0324
市社会福祉協議会 ☎33-0225

主な活動① まずは自分たちが体験

まずは「自分たちが楽しむこと」を重視して活動しています。スポーツ吹き矢やポッチャなど、まずは自分たちで体験してみ、サロン活動のメニューへと展開しています。



主な活動② ほっこり笑川サロン活動

ポウリング・輪投げ・ポッチャなど、子どもから大人まで一緒に楽しめる企画を行っています。今年8月に「夏休み交流会」を実施しました。



1階イベント棚 「からだをこがそう〜スポーツの秋〜」から

サッカーしよう!ブルンミ

マレーク・ベロニカ/文・絵 【風濤社】

サッカーボールをもらったブルンミ。一人で練習しようとしても、なかなか上手にできません。すると、ともだちのペンツェ君がやってきて、誰でも初めてのことに挑戦する時は、うまくいきません。けれど、転んでも痛くても一生懸命練習するブルンミを、思わず応援したくなる、そんなお話です。

2階イベント棚 「受賞!!」から

すべて内なるものは

エドウィージ・ダンティカ/著 【作品社】

全米批評家協会賞小説部門受賞作
ハイチで生まれ、12歳でニューヨークに移住した著者は、移民として、女性としての視線から故郷ハイチの人々や歴史、文化に思いを寄せる作品を書き続けています。この本も、ハイチをモチーフにして書かれた全8編を収めた短編集です。

図書館へ行こう

LET'S GO TO THE LIBRARY

〈 ゆうき図書館注目の図書を紹介します 〉



石島建設プラネットホール
・ゆうき図書館 ☎34-0150

新着図書から①

一高生が見た関東大震災 100年目に読む、現代語版 大震の日

木戸 崇之/編 竹田 亮子/編【西日本出版社】

関東大震災から100年という節目に、新しく地震に触れた書籍が多く出版される中で、学生という多感な年頃に記されたものを収集しているのがこの資料です。被災した場所によって、章分けされているので、より当時のその場所の被害を知ることができ、振り返ることができます。

新着図書から②

枯木ワンダーランド

深澤 遊/著 【築地書館】

朽ちている木を見て、ついつい悲しい気分になってしまうこともあります。否、枯れ木は決して終わった木ではないのです。大地の栄養になり、動物の住処になり、菌の苗床にもなります。枯れ木だからこそその繋がりを、ぜひこの本で確かめてみてください。

セナミ学院

東通至聖子校 東通至NET Lepton

下館校 筑西市乙924 ☎0296-25-0001

下妻校 下妻市小野子町1-66 ☎0296-43-2000

結城校 結城市下り松3-2-4 ☎0296-48-6828

お問い合わせ・申込みはホームページのメールフォームまたはお電話にてご連絡ください。
https://www.senami.co.jp/

結城校 生徒募集中

校舎見学会 随時開催
中学受験コース 対象:小4~小6
集団授業コース 対象:中1~中3

2023年度 公立中高一貫校合格実績

2022年度 高校合格実績

下館一高 附属中 22名 [定員40名]
下妻一高 附属中 21名 [定員40名]
水戸一高 8名
下館一高 43名
下妻一高 42名